



記念館だより

2020年7月号

保護者と共に

加藤 輝勢子

7月に入りました。梅雨の真ただ中で、今年の7月は末日まで学校があります。もっと言えば、夏休みがいつもより短いです。でも、子どもたちは学校が始まった喜びを感じています。暑い日は汗をかきながら、「暑い！」と言って、雨の日は濡れながら「雨、いっぱい降っていた？」と聞くと、「いっぱい降ってた」と答えながら階段を上ってきます。5階まで一気にのぼると、ランドセルを下ろし、手を洗い、水分補給をし、それぞれの遊びに入っていきます。もちろん、宿題を先にする子どももいます。「新型コロナウイルス感染」の脅威がなくなったわけではありませんので、三密を避けながら、子どもたちの心と体の成長のための居場所を確保していきます。

いつもなら、サマーキャンプの準備のために、お泊まり会をして、家から離れて泊まる練習をしたり、自分のことはできるだけ自分で用意したり、友だちとより仲良くなる機会でした。しかし、今年はそのような経験をすることはできません。すぐにはできませんが、このような状況の中でも何か工夫をして今年ならではの体験をしたいと思っています。

今年ならではの体験をしたいと思っています。

また、今年は保護者会総会も開けませんでした。先日、新旧の保護者会役員の皆さんが集まってくださり、引継ぎをしてくださいました。ありがとうございます。保護者会の活動もまた、いつもと違うものとなると思います。

記念館の保護者会の活動は、学童期の子どもを持つ保護者が仕事や子育てをしながらなのでいろいろ大変なこともあると思います。保護者会を通して、学童クラブ職員や保護者同士が交流を深め、子育ての悩みや喜びも含めて一人で抱え込まないでみんなで共有できると良いと願っています。保護者会を通して保護者の方が子どもたちと一緒に活動している姿を見ている子どもたちの目は輝いています。「コロナ」の時、いろいろと困難はありますが、子どもたちと保護者の皆さんと共に元気でいられるために知恵を絞り乗り切りたいと思います。よろしくお祈りします。

学童クラブ

4月に入学式が行われたものの、すぐに学校生活になることもなく、もちろん学童クラブもみんなと過ごすことが出来ずによく6月から少しずつですが活気が戻ってきているように感じます。

1つ学年が上がることで年上のお兄さんお姉さんに教わっていたことを教えてあげる場面というのを目にすることが増えました。

1年生と一緒に遊ぶことはもちろん、まだ遊びたい気持ちがありお迎えが来ていてもなかなか動かないお友だちに「これ写真撮っておくから明日また一緒にしご作ろうよ」と声をかけている姿が見られました。自分が教わったことを教えるというのが広がることで子どもたちの心の成長につながる1つだなど感じた場面でした。

これから夏本番、子どもたちの成長を見られるのが今から楽しみです。(内野)



～コスモス会～



4月の途中からコロナウイルスの影響でお休みしていましたコスモス会の配食ですが、7月からまた再開します。

消毒・検温の徹底はもちろん、ボランティアの方の真心もしっかり詰めてお届けしたいと思います。

☆記念館トピック☆

【賀川研究】

今年度からは『四十年の恵み～本所基督教産業青年会・日本基督教団東駒形教会四十年史』をテキストに読み進めていきます。

7/17(金) 19:00～

本所賀川記念館3F ホール

ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 絃枝先生



美術教室

今月は全てお休みです

講師：亀田谷 亜礼先生

